

IV やまぐち型地域連携教育強化推進  
事業 及び「地域教育ネット」による  
温かい絆きずなづくり推進事業



# やまぐち型地域連携教育強化推進事業

## 1 趣旨

コミュニティ・スクール（CS）が核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、「地域教育力日本一」の推進を図る。

## 2 事業概要

### (1) 山口県コミュニティ・スクール推進協議会の開催

コミュニティ・スクールに係る県の施策充実や各学校の取組改善に向けた協議

[委員構成] 各市町推進協議会代表、学識経験者、小中校長会代表、市町教育長代表 等

[回数] 2回

### (2) やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルの開催

県内のCS設置率100%達成を記念し、「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果を県内外に発信

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、中高生、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 基調講演、パネルディスカッション、実践発表、DVD放映 等

### (3) 山口CSコンダクターの配置

各学校運営協議会や小・中学校合同の学校運営協議会の助言・支援

[配置] 13市に加え、周防大島町及び熊毛郡3町（兼務）に各1名

（計15名、和木町及び阿武町は近隣市の山口CSコンダクターが兼務）

### (4) 統括コンダクターの派遣

各山口CSコンダクターの活動を支援する統括コンダクターを派遣

[配置] 2名の山口CSコンダクターが兼務

### (5) コミュニティ・スクール・地域協育ネット担当者及び山口CSコンダクター合同会議の開催

やまぐち型地域連携教育の充実に向けた担当者が一堂に会しての連携会議

[実施内容] 先進事例発表、講演、グループ別協議 等

[実施回数] 年3回

### (6) やまぐち地域連携教育の集いの開催

「やまぐち型地域連携教育」について県民への周知を図り、推進気運を醸成（県内7地域）

[参加者] 地域住民、保護者、教職員、コーディネーター、山口CSコンダクター 等

[実施内容] 実践発表、講演、熟議 等

### (7) やまぐち型地域連携教育PR用DVDの作成

地域住民等への啓発資料として、地域連携教育の取組等を映像化して、県内外に配付

### (8) やまぐち型地域連携教育実践事例集の作成

CSや地域協育ネットの取組を事例集としてまとめ、県内外に配付

[配付先] 国、都道府県、市町、学校、各種団体 等

### (9) 家庭教育支援担当者会議の開催

「家庭教育支援チーム」設置に向けた課題共有・解決策等を協議（年2回）

### (10) 訪問型家庭教育支援事業

訪問型家庭教育支援に向けた体制構築等

[実施内容] 協議会、訪問型家庭教育支援員養成講座（年4回） 等

### (11) 「地域協育ネット」コーディネーターステップアップ講座の開催

実践力、リーダー資質、企画調整力の向上等に向けた演習等（年4回）

# 山口県コミュニティ・スクール推進協議会

## 1 目的

県内のどの地域においても、地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支援する質の高い教育支援体制を整備するために、コミュニティ・スクールに関する県教育委員会の施策の充実や各学校等の取組の改善に向けた協議を行うとともに、各市町での自立した取組を支援し、内容の充実を一層促進する。

## 2 内容

### ○委員構成

各市町CS推進協議会委員、学識経験者、学校関係者、市町教育長代表、山口CSコンダクター代表 等

### ○開催日 年2回開催（平成28年5月17日、平成29年1月26日＜合同開催＞）

### ○協議内容

【第1回】 県のコミュニティ・スクールの施策について説明し、推進に向けての共通理解を図るとともに、各市町の課題等について改善方を協議

【第2回】 平成27・28年度の山口県コミュニティ・スクール推進協議会及び山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の取組、プロジェクト・チーム会議のまとめ、山口CSコンダクターの取組による成果と課題、地域大会・全国大会の成果等を踏まえ、やまぐち型地域連携教育の取組の更なる充実について協議

## 3 プロジェクト・チーム会議

協議会の下部に、情報収集及び分析等を行うプロジェクト・チームを設置する。

プロジェクト・チームは会長から委嘱を受けた委員によって構成され、必要に応じて会長が招集する（「山口県コミュニティ・スクール推進協議会」設置要綱 第7条）。

### 《協議内容》

開催日	協議内容
7月8日	○今年度の県教委の取組について ○「やまぐち型地域連携教育におけるコミュニティ・スクールのめざす姿」について ○成果指標について
10月28日	○「やまぐち型地域連携教育におけるコミュニティ・スクールのめざす姿」について ○県政世論調査の結果の分析について ○これからの学校、学校教育がめざすべき方向性について
11月30日	○「やまぐち型地域連携教育におけるコミュニティ・スクールのめざす姿」について ○コミュニティ・スクールの取組の充実に向けての具体的な方策について

# やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル

## 1 目 的

県内全ての市町立小・中学校がコミュニティ・スクールとして「やまぐち型地域連携教育」に取り組むことによる「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に向けた成果を全国に発信し、全国的なコミュニティ・スクール推進気運の醸成を図るとともに、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の実現をめざす。

## 2 開催日 平成28年12月17日(土)

## 3 会 場 周南市文化会館

## 4 内 容

- 開会行事
- 平成28年度「やまぐち型地域連携教育」に係る優良「地域協育ネット」等表彰
 

◇岩国きんたいきょうネット	(岩国市立岩国中学校区)	
◇大殿地域協育ネット	(山口市立大殿中学校区)	
◇しらかべネット	(柳井市立柳井中学校区)	
◇牟礼ミラタクネット	(防府市立牟礼中学校区)	
◇油谷みすゞ学園	(長門市立菱海中学校区)	※五十音順
- 行政説明 文部科学省、山口県教育委員会
- 実践発表 県立宇部総合支援学校、県立周防大島高等学校、光市立浅江中学校
- 研究協議 「コミュニティ・スクールの成果や課題、更なる充実に向けて」

コーディネーター	文部科学省初等中等教育局参事官付 参事官補佐	廣田 貢 氏
登 壇 者	光市立浅江中学校 校長	伊藤 幸子 氏
	県立周防大島高等学校 教頭	竹村 和之 氏
	県立宇部総合支援学校 校長	石本 正之 氏
	萩市立萩東中学校 学校運営協議会委員	廣畑かほり 氏
	岩国市立川下中学校コーディネーター	渡邊 博明 氏
	CSマイスター(周南市立德山小学校 教頭)	中村 正則 氏
	山口CSコンダクター	木本 育夫 氏
	光市教育委員会 学校教育課長	和田 明俊 氏
	山口県教育庁 義務教育課長	松田 靖 氏

## 5 参加者 約1,300名

※ 教職員、学校運営協議会委員、地域協育ネット関係者、コーディネーター、行政関係者

## 6 感想(アンケートより抜粋)

- コミュニティ・スクールを通じて子どもたちは、生き方を学び、自分、人、地域を愛する人になっていること。地域が元気になっていること。そしてより良い社会、未来について考え、切り開いていくことになっていることが大変よくわかった。
- これまで、研修などを通して理屈はわかっているけど、自分が直接関わる頻度が少なくよくわからない面もあった。でも、今日の発表や仕組みを聞いて、子どもたちの姿を目にして、とても心が熱くなった。1校1校が子ども達のために、地域や保護者の方としっかりつながっていく必要があると、改めて思った。



実践発表：県立周防大島高等学校



研究協議

# 山口<sup>コミスク</sup>CSコンダクターの配置（兼務を含め全19市町に配置：15名）

## 1 山口<sup>コミスク</sup>CSコンダクターの役割

モデル中学校区を中心に、各学校のコミュニティ・スクール（CS）の取組の充実や水準の向上、合同の学校運営協議会の体制づくりによる小中連携の取組の充実などを推進するために、各学校を訪問し、助言・支援等を行う。

※ CSに関する理解と経験をもつ退職校長等を配置

## 2 山口<sup>コミスク</sup>CSコンダクターの取組

- 学校訪問による管理職への助言・支援及び職員研修会等でのCSの重要性の説明
- 社会教育主事や指導主事、公民館等との連携及び学校と行政とのパイプ役
- 取組の充実を図るため、CSの協議会に積極的に参加し、助言・支援
- CS推進のための研修会を市教委と連携して企画・運営
- CSだよりの作成による教職員・地域住民への啓発
- 小中合同の学校運営協議会や研修会で助言・支援し、小中連携を推進

## 3 山口CS（コミスク）コンダクター連絡会（年3回）

《協議内容》 山口CSコンダクターの取組の共通理解及び情報等の共有

開催日	連絡会	連絡会の内容
H28. 4. 14	連絡会 ①	所管説明（平成28年度の県教委の取組について） 協議（今年度の各市のコミュニティ・スクールのめざす姿・方向性、山口CSコンダクターの重点取組事項について）
H28. 7. 1	連絡会 ②	学校訪問（長門市立油谷小学校） 協議（1学期の取組状況及び夏季休業中、2学期の取組について）
H29. 1. 13	連絡会 ③	事例発表（周南市のCSコンダクターの取組について） 協議（1年間のまとめ〈成果・変容〉、来年度に向けた取組について）

## 4 成果及び今後の取組

### ■ 成果

- 研修の充実
  - ・ 教職員の学校運営協議会への積極的な参加促進
  - ・ 各種研修会の開催及び7地域研修会の開催による好事例の普及
- 小中連携・一貫に向けた取組の推進
  - ・ 小中共通テーマやめざす子ども像の設定、地域ぐるみの取組の検討・実施
- 学校教育と社会教育の連携・強化
  - ・ 指導主事、社会教育主事と一緒に学校訪問、週1回の連携会議の開催等
- 地域貢献の推進
  - ・ コミュニティルーム等の地域住民の居場所づくりの推進
- 普及・啓発
  - ・ 意識調査結果の活用、市教委からの情報発信（ケーブルTVの活用、CSだよりの作成）
- 意識の変容
  - ・ 協働意識の醸成、ふるさとを愛する心の醸成
- 推進体制の構築・強化
  - ・ 校内組織と学校運営協議会、PTA組織等とのリンク
  - ・ モデル中学校区の小・中学校間の連携
  - ・ 市教委の学校教育主管課と社会教育主管課の連携 等

### ■ 今後の取組

- 子どものふるさとを愛する心の育成
- 学校運営協議会の充実
- 小中連携の推進 <「小中連携カリキュラム」「地域連携カリキュラム」の作成>
- 首長部局との連携 <市町教委への継続的な取組助言・支援>

# 山口県コミュニティ・スクール担当者、「地域協育ネット」担当者及び山口CSコンダクター合同会議

## ○ 目的

「やまぐち型地域連携教育」を推進するため、コミュニティ・スクール及び「地域協育ネット」の一体的な推進及び充実を図るとともに、先進的な取組の成果等を共有し、学校・家庭・地域が連携・協働し、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの「生きる力」を育む学校づくり、地域づくりの推進に資する。

### 第1回

1 日時・会場 平成28年5月13日（金）13:30～16:30 県庁職員ホール

## 2 内 容

### (1) 報告・所管説明

- ・第1回山口CSコンダクター連絡会について
- ・「やまぐち型地域連携教育」の推進について
- ・「はつらつ山口っ子」DVD上映

### (2) 指導講話

文部科学省初等中等教育局参事官付 専門職 相田 康弘 氏  
「学校と地域の一体改革による地域創生について」  
「平成28年度文部科学省の事業について」

### (3) グループ協議

「やまぐち型地域連携教育」の推進について  
より多くの地域住民が来校する仕組みづくりについて  
学校教育と社会教育の連携について



### 第2回

1 日時・会場 平成28年11月14日（月）9:00～12:00 県庁職員ホール

## 2 内 容

### (1) 講演

鳴門教育大学 教授 久我 直人 氏  
「教育再生のシナリオの理論と実践」

～学校・家庭・地域が連携した子どもたちの自己肯定感を高める取組を通して～

### (2) グループ協議

「やまぐち型地域連携教育」の推進について  
学校教育と社会教育の連携について  
日常的に地域住民が訪れる学校づくりについて

### 第3回

1 日時・会場 平成29年2月10日（金）13:30～16:30 県庁職員ホール

## 2 内 容

### (1) 報告等

- ・「やまぐち型地域連携教育」PR用DVD視聴
- ・県コミュニティ・スクール推進協議会について
- ・山口CSコンダクター連絡会について
- ・県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議について

### (2) 講義

山口大学大学院 池田 廣司 氏

「コミュニティ・スクールと小中一貫教育の推進」



## やまぐち地域連携教育の集い（7地域大会）

### 1 目 的

学校関係者と地域関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域の連携の意義について理解を深めるとともに、学校と地域が連携して子どもを育む実践事例の紹介や協議等を通して、コミュニティ・スクール及び地域協育ネットの一体的な推進を図る。

### 2 各研修会のまとめ

日 程	地域	会 場	参加者数	講 師	事 例 発 表
8月23日(火)	萩	ラポールゆや	406名	京都光華女子大学 准教授（CSマイスター） 西 孝一郎 氏	萩市立福栄小・中学校 長門市中央公民館 県立大津緑洋高等学校
10月 7日(金)	岩国	和木町文化会館	167名	特定非営利活動法人まちと 学校のみらい代表理事 竹原 和泉 氏	和木町教育委員会 岩国市立灘小学校
10月31日(月)	防府	大道小学校	170名	島根県雲南市教育委員会 教育長（CSマイスター） 土江 博昭 氏	防府市教育委員会
11月 5日(土)	柳井	大島文化 センター	288名	文部科学省 文部科学事務次官 前川 喜平 氏 大阪市立大空小学校 前校長 木村 泰子 氏	平生町平生中学校 柳井市立伊陸小学校 県立周防大島高等学校 上関町放課後子ども教室 田布施町西の寺子屋 久賀地区引山太鼓保存会
11月28日(月)	厚狭	山陽小野田市 文化会館	230名	光市教育委員会 山口CSコンダクター (統括コンダクター) 木本 育夫 氏	宇部市教育委員会 宇部市立上宇部中学校 県立美祢青嶺高等学校
11月29日(火)	周南	周南市学び・ 交流プラザ	210名	京都光華女子大学 准教授（CSマイスター） 西 孝一郎 氏	周南市教育委員会 周南市立和田小学校 周南市立熊毛中学校 周南市立周陽中学校
12月 3日(土)	下関	市教育センター	200名	文部科学省初等中等教育局 参事官付 参事官補佐 廣田 貢 氏	下関市教育委員会 県立下関総合支援学校
参加者 総計			1,671名		

# 「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業

## 1 趣旨

地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働による全中学校区での教育支援体制「地域協育ネット」を活用した教育支援活動等の一層の充実を図る。

## 2 事業概要

### (1) 「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」体制構築事業【事業主体：市町】

- ・地域協育ネット協議会の運営充実のための補助

### (2) 「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」活動支援事業【事業主体：市町】

- ・地域協育ネット協議会の支援プランに基づき、登録された支援員を中心として実施される教育支援活動の補助

### (3) 「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」放課後子ども支援事業【事業主体：市町】

- ・全ての児童（中学生・幼児も可）を対象とした「放課後子ども教室」の実施
- ・活動の管理・運営に係る支援員（教育活動推進員、教育活動サポーター）の配置
- ・放課後児童クラブとの一体的または連携した取組の支援

### (4) 「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」土曜日の教育活動支援事業【事業主体：市町】

- ・地域協育ネット等、学校・家庭・地域の三者で協議され、提案された活動について実施
- ・年間10日程度の多様なプログラムを企画・実施できる土曜教育コーディネーターの配置
- ・学習プログラムに係る専門性をもった地域住民や企業人、公務員等を土曜教育コーディネーターの連絡・調整により、土曜教育推進員として配置

### (5) 「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進体制強化事業【事業主体：県】

- ・山口県「学校・家庭・地域の絆づくり」推進会議の開催
- ・研修会の開催（「地域協育ネット」の活動に係る人材の養成）
- ・「地域協育ネット」の広報（テレビ番組やリーフレット作成）

## 3 県の取組

- 山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の開催（6月・1月） 委員20名
- 「地域協育ネット」コーディネーター養成講座の開催 ※詳細は、P114を参照  
（年8回：5月、6月、7月、8月、10月、11月、1月）
- 「地域協育ネット」コーディネーターステップアップ講座の開催 ※詳細は、P114を参照  
（年4回：5月、7月、11月、1月）
- 教育支援員等研修会（年1回3会場）
- 「地域協育ネット」の広報
  - ・やまぐち型地域連携教育実践事例集の発行
  - ・「学校・家庭・地域でささえる はつらつ山口っ子」の放映（年10回：再放送5回）
- “熟議”サポート事業の実施 ※詳細は、P115を参照
- 「家庭の元気応援」出前講座の開催 ※詳細は、P116を参照



## 山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議

### 1 目的

学校、家庭、地域が連携・協働して、地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支援する「地域協育ネット」を全県で推進するために、県としての今後の取組や方向性について協議し、地域ぐるみの教育支援体制の一層の充実を図ることを目的とする。

### 2 内容

#### ○ 委員構成

社会教育委員の会議代表者 県都市教育長会代表者 県町教育長会代表者 県小学校長会代表者 県中学校長会代表者 県保育協会代表者 県私立幼稚園協会代表者 県公民館連合会代表者 県青少年育成県民会議代表者 県子ども会連合会代表者 県自治会連合会代表者 県連合婦人会代表者 県PTA連合会代表者 県民生委員児童委員協議会代表者 やまぐち教育応援団登録事業所代表者 CS推進協議会代表者 市町教育委員会担当者代表 統括コーディネーター代表者 地域協育ネット協議会代表者 家庭教育アドバイザー代表者

#### ○ 開催日 年2回開催（平成28年6月1日、平成29年1月26日＜合同開催＞）

#### ○ 協議内容

##### 【第1回目】 家庭教育支援のあり方について <以下：委員の主な発言内容>

- ・学校という場を活用しての家庭教育支援のあり方については大きな可能性がある。
- ・貧困家庭の問題は学校だけでは解決できない。この問題の解決に向けては、スクールソーシャルワーカーの存在は大きい。
- ・日常的に地域の方が学校に入ることによって、子どもたちが地域を身近に感じ、子どもを通して地域住民と保護者の相互の信頼感につながっている。
- ・CSや「地域協育ネット」がうまく機能している学校・地域では、結果的に家庭教育支援の充実につながっている。地域も元気になり、地域のネットワークが密になることによって、支援が必要な家庭が見えてくる。
- ・家庭教育支援の充実には、「地域協育ネット」の機能の中に家庭教育支援の機能をもたせるなど、重点的に行うことも必要である。

##### 【第2回目】 「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実に向けて

- ・学校運営協議会において学校課題を地域に開き、学校の状況を見てもらう機会をつくることが大切である。
- ・学校課題を学校運営協議会で正直に出せる雰囲気にするのが大切である。
- ・「コーディネーターの養成」、「後継者の育成」が課題である。
- ・地域ならではの文化を伝える仕組みづくりが必要である。行事を通じて、子どもたちを育てていく視点が必要である。
- ・自分の地域を愛せる子どもを育てたい。教育課程に地域に貢献する内容の授業を取り入れてはどうか。

平成 28 年度「『地域協育ネット』コーディネーター養成講座」「家庭教育アドバイザー養成講座」及び  
 「『地域協育ネット』コーディネーターステップアップ講座」「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」

### 実施内容

月日	養成講座	ステップアップ講座
	テーマ・内容	テーマ・内容
5/21 (土)	「生涯学習、社会教育の基礎」	
	行政説明「県の社会教育施策」	
	講義「人権教育の推進について」	
	行政説明「国の社会教育施策」	
	参加者交流	
6/11 (土)	「子どもの発達と理解」	「家庭教育支援のための教育相談」
	講義「気になる子どもの理解と対応」(発達障害)	講義「学校・家庭・地域が連携した家庭教育支援」
	講義「子どもの発達と課題」(幼少期)	演習「カウンセリングの演習」
	講義「子どもの発達と課題」(児童期・青年期)	参加者交流
7/9 (土)	「ネットワークづくり」	地域の課題を解決するための活動の仕組み方
	講義・演習「地域情報の収集・活用方法とネットワーク」	講義・演習「地域・家庭・学校が連携してできるあんなこと・こんなこと」
	事例発表「『地域協育ネット』の活動のようす3事例」	事例発表「地域の課題を解決するための活動」
	参加者交流	グループワーク「教育活動支援のためのプランづくり」
8/6 (土)	「コミュニケーションスキル」	「地域・家庭・学校をつなぐためのスキル」
	講義「コーディネーターとしての関わり方」	講義・演習「子どもと親のサポートセンターの機能と電話相談への対応」
	演習「コミュニケーションのとり方(人間関係づくり)」	講義・演習「家庭内のひきこもりへの対応」 演習「家庭教育における問題を想定したケース検討」
	プログラム体験「熟議」	参加者交流
10/15 (土)	「コーディネーターの心得」	「現代的課題への対応」
	講義・演習「カウンセリングスキル」	講義「家庭教育支援の現状と支援者の役割」
	講義「危機管理について」	事例発表「家庭教育支援チームの先進事例」
	講義「ワクワク ドキドキのコミュニケーション論」	講義「ソーシャルワーカーの活動と役割」
	参加者交流	
11/26 (土)	「家庭教育支援の実際」	「コーディネーターとしての心構え」
	講義「子どもを取り巻く現代的課題(虐待について)」	講義「コーディネーターの活動を、地域づくりの視点から考える」
	講義「子どもの病気とけが」	グループワーク「『ボランティアの心得』づくり」
	プログラム体験「家庭の元気応援出前講座」	参加者交流
8月 ～ 12月	「学校・家庭・地域の連携による仕組みづくり」	
	県内7地域で開催される「やまぐち地域連携教育の集い」への参加	
1/21 (土)	「企画・運営の総合的スキル(ファシリテーションスキル)」	
	講義「これからの家庭教育支援のあり方」	
	講義・演習「コーディネーターに求められる役割とスキル」	
	1年間の振り返り	

# “熟議” サポート事業

## 1 目的

「地域協育ネット」協議会や学校運営協議会の取組の充実に向けて、子どもたちをめぐる現状や課題、国及び県の動向や県内の好事例等に関する情報や「熟議」のノウハウ等を提供するとともに、各市町教委との協働を通して、各市町における「熟議」の推進を支援する。

## 2 主催

山口県教育委員会

## 3 対象

「地域協育ネット」協議会や学校運営協議会等を活用し、教職員及び保護者、地域関係者等、様々な立場の人で行う「熟議」

## 4 事業概要

### (1) 「『熟議』開催支援プログラム」の実施

- ・各学校等からの支援要請があれば、各市町教委と協働して（県教委2名、市町教委1名でチームを編成）支援する。
- ・県内の好事例や現状認識に関わる情報提供

### (2) 「『熟議』パッケージ」の提供

- ・各市町教委にプログラム、進行係シナリオ等の「熟議パッケージ」を提供し、市町教委、学校等の主体的な「『熟議』の場づくり」を促進する。

## 5 講座の流れ

### ① はつらつ山口っ子」視聴

- ・「はつらつ山口っ子（企画：山口県教育委員会 制作著作：山口放送）」

### ② 現状認識に関わる情報提供

- ・子どもを取り巻く環境
- ・「やまぐち型地域連携教育」の推進について  
（コミュニティ・スクールとは。「地域協育ネット」とは。）

### ③ グループワーク

- ・テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。

### ④ シェアリング

- ・各グループの意見を全体場で共有する。
- ・「熟議」を今後の動きにつなげていくことを確認する。

## 6 講座の様子とその後の動き



「熟議」で提案された  
プランの実践



# 「家庭の元気応援」出前講座

## 1 目的

家庭教育の充実に向け、幼稚園、小・中学校のPTA等や、企業等で働く、子育てに関わっている、あるいは関心のある社員に、子育てのあり方や親の役割等、家庭教育の重要性について学習する機会を提供する。

## 2 主催

山口県教育委員会

## 3 対象

幼児期から中学生までの子どもの保護者及び子育てに関心のある社員を雇用する県内の企業や団体

## 4 事業概要

### (1) 事業の内容

- ・ P T A、企業等が行う研修等に講師（山口県教育庁社会教育・文化財課社会教育主事等）を派遣し実施する。
- ・ 「家庭教育」をテーマにしたグループワーク、講義等
- ・ 開催時間は60分～90分程度
- ・ 県内の好事例や現状認識に関わる情報提供

### (2) 実施回数

- ・ 年間35回程度

## 5 講座の流れ

- ① グループ分け（アイスブレイク）
  - ・ ゲームを通して、グループ分けとアイスブレイクを行う。
- ② 活動のねらいを知る
  - ・ 家庭教育の五つのポイントを提示し、講座テーマについてのイメージをふくらませる。
- ③ グループワーク
  - ・ テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。
- ④ シェアリング
  - ・ 各グループの意見を全体場で共有する。
- ⑤ まとめ（ファシリテーターによる振り返り）
- ⑥ アンケート記入

## 6 講座の様子

